

《二〇二二年度 第二回試験 国語》解答例

一 問一 ① てんもんがく ② 紀元前 ③ 捨(て) (2点×3)

問二 1 オ 2 エ 3 ア 4 イ (2点×4)

問三 科学(としての天文学の基本となる見方) (5点)

問四 Y 北極星を中心として東から西へと回転

Z かなり複雑な軌跡を描いて運行 (4点×2)

問五 イ オ (3点×2)

問六 エ (3点)

問七 (1) (E G H はじめ)しかし、そ(う)終わり)てみる」。 (完答4点)

(F) 天動説から地動説への転換 (3点)

(2) 古い常識を捨てて新しく別の見方を取り入れること。 (7点)

二 問一 ① 包(まれ) ② れつきよ ③ 候補 ④ ねんばい (2点×4)

問二 1 エ 2 ウ 3 エ (2点×3)

問三 (機能)相手の言葉をきちんと聞くこと。 (4点)

(デザイン)美しい曲線を描き、余計なものがないシンプルな様子。 (4点)

問四 (1) 客観的 (3点)

(2) 子供に絵本の読み聞かせをする時に、自分が出過ぎることなく、絵本と子供をつなぐ媒介となって、子供たちを絵本に集中させている。 (8点)

問五 「彼女」は自分のした仕事为他人の役に立つことを喜び、仕事への誇りを持っていると感じ、それは「智久」ももつとも大切にしていることだったから。 (7点)

問六 イ オ (完答4点)

問七 ウ (3点)

問八 ア (3点)